

令和6年度事業計画

1 基本方針

昨年5月、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した後、会員の拡大や新規事業（振り込め詐欺撃退録音機取付事業等）により、センター事業は回復基調となりました。

一方、コロナ禍での地域班活動は停滞し、後任の役員不足等大きな課題が明らかになりました。

また、昨年10月のインボイス制度導入に伴う厳しい財政状況乗り越えるため、柏市の支援（インボイス加算）をはじめ、経費削減を図りました。

令和6年度は、会員の拡大、就業先の確保・拡充、安全就業の推進と事故の削減、並びにデジタル化の促進を重要施策として取り組んでまいります。

秋に施行される「フリーランス法」では、センターと就業会員に大きく影響が生じることが考えられるため、適宜、最新の情報提供と対応の強化に努め、役職員が一丸となって円滑な事業運営に資するよう講じてまいります。

2 事業計画

（1）センターの組織体制の強化

① 総会出席率の向上

総会出席率の向上を目指し、広報紙や各種会議等で積極的な参加を促す。

また、令和5年度総会出欠席無回答者には、通知文の送付やSMS、電話連絡等により参加を呼びかけ、委任状及び議決権行使書の提出を含め、85%以上の出席率を目標とする。

② 地域班活動の在り方の見直し

地域班役員の高齢化や後任者の選出が困難な状況が続き、役員不在の班が増加している現状を鑑み、5月の役員選出状況を踏まえ、地域班の存続意義や新たな方向性について見直す。

③ 未就業相談の充実

未就業会員へのアプローチを通じて状況把握に努め、希望職種と就業紹介のすり合わせを行い、就業紹介に繋げていく。

また、定期的な未就業相談と地区別出張未就業相談会を実施し、未就業会員の解消を図る。

更に、新たに導入した会員専用サイト（Smile to Smile）の登録を推進し、会員が自ら就業情報を閲覧することで自分に合った就業を選択出来るよう体制を整える。

④職群班活動の推進

安全就業、会員相互の連携、情報の共有化並びに品質の向上を図るため、職群班の定期的な会議や講習会及び研修会等を行い、自主的な活動を推進する。

また、新たな職群班（近隣センター班）を立ち上げる。

職群班会議

パソコン班 6回、除草班 4回、駐輪場班 4回、植木班 10回、近隣センター班 2回

講習会及び研修会

除草班：刈払機講習会（1回）、駐輪場班：接遇研修会（1回）、植木班：剪定技能講習会（2回）、近隣センター班：接遇研修会（1回）

⑤IT化の推進

ホームページに会員専用サイト（Smile to Smile）を開設し、センターからのお知らせや配分金明細書等を閲覧できる環境を整え、IT化を推進する。

また、広報紙「ゆずりは」のホームページによる閲覧を推奨する。

（2）事務局体制の強化

①事務局組織の強化と機能充実

事務局職員は、担当職務の役割と責任のもと、明確な目的意識をもって業務を遂行するため、必要なスキルアップ講習を受講し、個々の能力向上に努めるとともに、効果的なコミュニケーション戦略を確立し、組織体制の強化と充実を図る。

②他市センターの情報収集

新たな法律の施行によるセンターを取り巻く環境変化に迅速に対応するため、東葛地区シルバー人材センター連絡会議や県内7市シルバー人材センター意見交換会等に参加し、正確かつ最新情報の収集に努め、センター事業の適正化に活用する。

③ 会員と役員・事務局職員の連携強化

各専門部会や安全委員会、職群班会議の意見等が反映される事業展開に資するため、会員・役職員がコミュニケーションを図り連携強化に努める。

④ 専門部会の所管事項の整理及び再編

各専門部会及び安全委員会の所管事項を整理し、必要の都度再編を検討するとともに、センター運営が円滑に推進するよう努める。

(3) 会員の拡充と広報の充実

① 会員の拡大

前年度末会員数プラス50名の増加を目標とする。入会説明会、女性限定説明会及びシルバーサロンを開催し、会員の拡大に取り組む。

また、ホームページ上の機能を強化するとともに、パレット柏での情報提供の拡充と入会促進を図る。

② ホームページ等の掲載内容の充実・更新

センターの活動状況や就業情報等、最新の情報を提供できるよう適宜更新を行い、就業先の拡大と新入会員の拡充に繋げていく。

③ 「ゆずりは」「柏シルバーだより」の発送方法の検討

広報紙「ゆずりは」と「柏シルバーだより」は、会員への情報紙としてセンターの事業活動や会員の就業状況、地域班活動等について情報発信していく。

また、広報紙「ゆずりは」の配布方法の改善について検討し、IT化やペーパーレス化の推進に努める。

④ 研修計画の策定と研修メニューの開発

就業会員や女性会員交流会等から出た意見を基に研修のニーズを把握する。

また、発注者の声を参考に研修内容について、検討する。

(4) 就業機会の確保・拡大

① 受注の拡大

柏市や民間企業等の既存契約先へ訪問し、新たな職種の受注確保に努める。

また、大手コンビニ店舗へのリーフレットの配架を継続し、一般家庭からの受注の拡大を図る。

②請負・委任及び派遣事業の拡充

柏市や柏市生涯現役促進協議会と連携を強化し、求人情報を掲載している企業へのチラシの送付や、就労セミナー等へ参加した企業にセンターの情報提供を行い、新たな職種の受注に繋げる。

③独自事業の充実

既存事業のシルバー学び隊事業の促進を図るとともに、新規事業の展開に向けたサポートを行う。

空き家管理とお墓の清掃事業は、ホームページを活用し、受注獲得のためのPR活動を推進する。

④顧客満足度の向上と就業先訪問

顧客満足度の向上を図るため、会員の就業状況等に関するアンケートを実施し、その結果を反映することで発注者との信頼関係の確保に繋げる。

また、ジョブコーディネーターの情報提供から、得意先への訪問を行い、シルバー人材センターの活用や新たな就業の提案等を行う。

⑤適正就業の確保

ジョブコーディネーターによる就業場所の確認や就業内容を精査し、誰もが安全・安心に就業できる環境を確保する。

また、依頼内容に応じて、請負・委任・派遣と契約方法を選択し、適正な契約を締結する。

(5)安全管理の推進

①安全委員会の機能強化

安全委員会を6回開催し、事故原因の検証や改善策を会員、発注者と共に検討を行い、ジョブコーディネーターに情報提供をする。

②安全パトロールの実施

安全委員会開催時に12か所(6回×2か所)の安全パトロールを実施し、就業場所の作業環境や作業実態を確認するとともに、必要な安全指導を行い事故防止に努める。

③事故の削減

新入会員研修の中で、安全就業の周知徹底を図るとともに、就業途上の事故を削減するため、柏市や柏警察署と連携を図り、交通事故防止講座を実施する。

更に、事故の発生状況や講座等の開催について、広報紙「ゆずりは」や「柏シルバーだより」等で会員へ情報提供し、事故発生件数を、前年度比25%削減する。

④健康診断受診の推奨

会員が健康で活力ある就業を継続していくため、年1回の健康診断の受診を奨励し、会員自身が健康状態の把握に努めてもらうよう広報紙等で呼びかけを行う。

(6) 経営及び事業運営の基盤整備

①経営視点での事業運営

インボイス制度(2年度目)に対応するため、市当局に引き続きインボイス加算と補助金の増額及び公共受注の拡大要請を行い、経営基盤の安定化を図るとともに、センター経営の合理化を推進する。

また、配分金単価の適正化に取り組み、事務費収入の確保に努める。

(7) 地域社会への貢献

①地域イベントへの積極的な参加

センターの活動が注目を集める事業の展開やイベント(地域のお祭り、ボランティア活動等)を通じ、地域社会への貢献度を高める団体として認知度の向上を図る。

②地域貢献・会員と市民の交流促進

柏市、柏市生涯現役促進協議会、柏市社会福祉協議会、柏商工会議所等との連携を図り、市民との交流を意識した活動を展開する。

また、市民へのセンターの情報提供と入会促進を図るため、シルバーサロンを4回開催する。

更に、女性交流会を開催し、女性会員同士の情報交換、繋がり強化に努める。